

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2023 年 4 月 21 日

都道府県知事 殿

病院名 手稲恵仁会病院  
開設者 医療法人 溪仁会 理事長 成田 吉明

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。  
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、①. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。  
（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

①. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 030008

臨床研修病院の名称： 手稲溪仁会病院

記入日：西暦 2023 年 4 月 20 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030008	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 手稲溪仁会病院群 番号 0300087
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ ミナキ ムミ 氏名(姓) (名) 南木 由美	役職 医局・臨床研修支援室 室長代理 (内線 4235 ) (直通電話 (011) 681—8111 ) e-mail: minamiki-yu@kejinkai.or.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)	
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ テイセイジノカイ ヨウイン 手稲溪仁会病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 0068555 (北海道・府・県) 札幌市手稲区前田1条12丁目1-40 電話：(011) 681—8111 FAX：(011) 685—2998 二次医療圏 の名称： 札幌圏		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ リョウホクジン ケジノカイ 医療法人 溪仁会		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 0068555 (北海道・府・県) 札幌市手稲区前田1条12丁目1-40 電話：(011) 681—8111 FAX：(011) 685—2998		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ 古田 姓 古田	ヤシ 名 康	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	http://www.kejinkai.com/teine/		

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030008

臨床研修病院の名称： 手稲溪仁会病院

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤：289 名、非常勤（常勤換算）： 0 名 計（常勤換算）： 289 名、医療法による医師の標準員数： 46.1 名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2022 年 7 月 1 日、告示番号：第 442 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 ③ 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	① 有（ 274.21 ）m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 11,790 件（うち診療時間外： 9,884 件） 1日平均件数： 32.3 件（うち診療時間外： 27.1 件） 救急車取扱件数： 6,092 件（うち診療時間外： 4,478 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 10 名、看護師及び准看護師： 6 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 ① 有 0. 無 外科系 ① 有 0. 無 小児科 ① 有 0. 無 その他（ ）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 670 床、2. 精神： _____ 床、3. 感染症： _____ 床 4. 結核： _____ 床、5. 療養： _____ 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 10.1 日、2. 精神： _____ 日、3. 感染症： _____ 日 4. 結核： _____ 日、5. 療養： _____ 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 296 件、異常分娩件数： 223 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 2 回、今年度見込： 2 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記入
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 6 件、今年度見込： 10 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 ① 有 0. 無（ _____ ）大学、（ _____ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	1. 有（単身用： _____ 戸、世帯用： _____ 戸） ① 無（住宅手当： 0 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	① 有（ 1 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	（ 90 ）m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： 5007 冊、国外図書： 154 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 1668 種類、国外雑誌： 1081 種類
	図書室の利用可能時間	0：00 ～ 24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース ① 有 0. 無）、教育用コンテンツ ① 有 0. 無）、 その他（ _____ ） 利用可能時間（ 0：00 ～ 24：00 ）24時間表記
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター ① 有 0. 無）、 その他（ペイシエントシミュレーションシステム）	





# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030008

臨床研修病院の名称： 手稲溪仁会病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

<b>30. 研修医の募集及び採用の方法（続き）</b> <small>（基幹型記入）</small>	募集方法	①. 公募 2. その他（具体的に： _____）
	応募必要書類 <small>（複数選択可）</small>	①. 履歴書、②. 卒業（見込み）証明書、3. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他（具体的に： _____）
	選考方法 <small>（複数選択可）</small>	①. 面接 ②. 筆記試験 その他（具体的に： _____）
	募集及び選考の時期	募集時期： 7月 15日頃から 選考時期： 8月 27日頃から
	マッチング利用の有無	①. 有 0. 無
<b>31. 研修プログラムの名称及び概要</b> <small>（基幹型記入）</small>	概要： * 別紙3に記入 （作成年月日：西暦 2022 年 4 月 21 日）	
<b>32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等）</b> <small>（基幹型記入）</small> * プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合には、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入	（プログラム責任者） 川がナ 杉 七ツ 氏名（姓） _____ 氏名（名） _____ 星 哲哉 所属 役職 総合内科（家庭医療科） 総合内科部長・臨床研修部長 （副プログラム責任者） ①. 有（ 1 名） 0. 無	
<b>33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等</b> <small>（基幹型記入）</small> 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。	* 別紙4に記入	
<b>34. インターネットを用いた評価システム</b>	①. 有（ <input checked="" type="radio"/> EPOC ・その他（ _____ ） ） 0. 無	
<b>35. 研修開始時期</b> <small>（基幹型、地域密着型記入）</small>	西暦 2024 年 4 月 1 日	
<b>36. 研修医の処遇</b> <small>（基幹型・協力型記入）</small>	処遇の適用 <small>（基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）</small>	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ②. 病院独自の処遇とする。
	常勤・非常勤の別	①. 常勤 2. 非常勤
	研修手当	一年次の支給額（税込み） _____ 二年次の支給額（税込み） _____ 基本手当／月（300,000円） _____ 基本手当／月（350,000円） _____ 賞与／年（ _____ 0円） _____ 賞与／年（ _____ 0円）
	勤務時間	時間外手当： ①. 有 0. 無 休日手当： ①. 有 0. 無 基本的な勤務時間（ 8:30 ~ 17:20 ） 24時間表記 休憩時間（ 60分 ） 時間外勤務の有無：①. 有 0. 無
	休暇	有給休暇（1年次： _____ 10日、2年次： _____ 14日） 夏季休暇 ①. 有 0. 無 年末年始 ①. 有 0. 無 その他休暇（具体的に： 特別休暇、産前・産後休暇、その他溪仁会が認めた時）
	当直	回数（約 0 回／月）
	研修医の宿舎（再掲）	1. 有（単身用： _____ 戸、世帯用： _____ 戸） ②. 無（住宅手当： _____ 0円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室（再掲）	①. 有（ 1 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
	社会保険・労働保険	公的医療保険（ 組合管掌健康保険 ） 公的年金保険（ 厚生年金保険 ） 労働者災害補償保険法の適用 ①. 有 0. 無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（ 1. 有 ②. 無） 雇用保険 ①. 有 0. 無

## 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030008

臨床研修病院の名称： 手稲溪仁会病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） (基幹型・協力型記入)	健康管理	健康診断（年 2 回） その他（具体的に )
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 (1) する 0. しない 個人加入 (1. 強制 (0) 任意)
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：(1) 可 0. 否
		学会、研究会等への参加費用支給の有無：(1) 有 0. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無 (1) 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (24時間 時 分 ~ 時 分)
		病児保育 (1) 有 0. 無) 夜間保育 (1) 有 0. 無)
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1) 可 0. 不可)
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1) 有 0. 無)
		その他の補助（具体的に： )
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所 (1) 有 0. 無) 授乳スペース (1) 有 0. 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	( )
	研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	1. 有 (0) 無 窓口の名称がある場合記入( ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名) 0. 無
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入 ( まめやか相談室 ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名) (0) 無	
37. 研修医手帳（基幹型記入）	(1) 有 0. 無	
38. 連携状況（基幹型記入）	* 様式6に記入	

※欄は、記入しないこと。

# 研修プログラム変更

別紙 1

(No. 1)

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数3回）

病院施設番号：030008      臨床研修病院の名称：手稲溪仁会病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ 紗	テツヤ	医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院	臨床研修部長 総合内科部長	プログラム責任者 指導医
姓 星	名 哲哉			
フリガナ イハラ	サシ	医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院	麻酔科部長	研修管理委員長 指導医
姓 石原	名 聡			
フリガナ フル	ヤシ	医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院	院長	管理者 指導医
姓 古田	名 康			
フリガナ ケト	ヨシコ	医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院	副院長	管理者代行
姓 栗本	名 義彦			
フリガナ タカ	ミル	医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院	消化器外科主任部長	副プログラム責任者 指導医
姓 高田	名 実			
フリガナ オノ	ヒデオ	医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院	経営管理部 部長	事務部門の責任者
姓 小野寺	名 英雄			
フリガナ アン	ヒロエ	医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院	看護部 副部長	
姓 安西	名 啓恵			
フリガナ オノ	カズノリ	社会医療法人 松田整形外科記念病院	名誉院長	外部委員 指導医
姓 大野	名 和則			
フリガナ シライ	マキ	医療法人北仁会 旭山病院	副院長	研修実施責任者 指導医
姓 白石	名 将毅			
フリガナ オノ	ケンタ	医療法人耕仁会 札幌太田病院	院長	研修実施責任者 指導医
姓 太田	名 健介			



# 研修プログラム変更

別紙 1  
(No. 2)

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数3回）

病院施設番号：030008 臨床研修病院の名称：手稲溪仁会病院

フリガナ ケヰ	ケヰ	JA 北海道厚生連	院長	指導医
姓 九津見	名 圭司	倶知安厚生病院		
フリガナ 榊	ケンゴ	JA 北海道厚生連	地域医療研修センター長	研修実施責任者
姓 木佐	名 健悟	倶知安厚生病院		指導医
フリガナ クラエ	知	社会福祉法人北海道社会事業協	診療部長	研修実施責任者
姓 蔵前	名 太郎	会余市協会病院		指導医
フリガナ デンダ	ケンゾウ	医療法人社団 慈藻会	院長	研修実施責任者
姓 傳田	名 健三	平松記念病院		指導医
フリガナ カジマ	キヒロ	医療法人社団	理事長、院長	研修実施責任者
姓 中島	名 公博	五稜会病院		指導医
フリガナ スガワ	ヤスミ	医療法人澤山会	診療部長	研修実施責任者
姓 菅原	名 康文	手稲病院		指導医
フリガナ 材木	リョウヘイ	医療法人溪仁会	院長	研修実施責任者
姓 大塚	名 亮平	手稲家庭医療クリニック		指導医
フリガナ 千葉	ススム	医療法人溪仁会	副院長	研修実施責任者
姓 千葉	名 進	札幌西円山病院		指導医
フリガナ ウヰ	アリス	医療法人社団林内科	理事長	研修実施責任者
姓 宇土	姓 有巢	あさひ町南大通クリニック		指導医
フリガナ サイトウ	トシカズ	社会医療法人博友会	副理事長	研修実施責任者
姓 齋藤	名 利和	平岸病院		指導医
フリガナ カガワ	タカシ	栄町ファミリークリニック	院長	研修実施責任者
姓 中川	名 貴史			指導医
フリガナ イマエ	アキヒロ	寿都町立寿都診療所	所長	研修実施責任者
姓 今江	名 章宏			指導医

# 研修プログラム変更

別紙 1  
(No. 3)

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数3回）

病院施設番号：030008      臨床研修病院の名称：手稲溪仁会病院

フリガナ ヒノ	シノブ	国民健康保険上川医療センター	院長	研修実施責任者 指導医
姓 平野	名 嘉信			
フリガナ モリカ	フミオ	医療法人北祐会 北海道脳神経内科病院	院長	研修実施責任者
姓 森若	名 文雄			
フリガナ シマダ	ヒロシ	国民健康保険 由仁町立診療所	医長	研修実施責任者 指導医
姓 島田	名 啓志			
フリガナ マツタ	タケシ	公益社団法人北海道勤労者医療協会 勤医協札幌病院	副院長、科長	研修実施責任者 指導医
姓 松浦	名 武志			
フリガナ トギヤ	サトシ	公立芽室病院	院長	研修実施責任者
姓 研谷	名 智			
フリガナ ニシムラ	コウタロウ	美幌町立国民健康保険病院	院長	研修実施責任者
姓 西村	名 光太郎			
フリガナ トネガワ	ナオヤ	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	小児科 医長	研修実施責任者、指導医
姓 利根川	名 尚也			
フリガナ ハシモト	トモチカ	南イリノイ大学医学部	助教授	研修実施責任者 指導医
姓 橋本	名 知直			
フリガナ ノーマン	ファー	テキサス大学	臨床教育室長 内科系レジデントプログラム副プログラム長	研修実施責任者 指導医
姓 Norman	名 Farr			
フリガナ アーミテージ	キース	ケース・ウェスタン・リザーブ大 学 大学病院クリーブランドメ ディカルセンター	内科系プログラム部長、教授	研修実施責任者 指導医
姓 Armitage	名 Keith			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 手稲溪仁会病院  
 病院施設番号： 030008

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科					そ の 他	病 理 科	放 射 線 科	
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	6,797	852 (11,790)	4,212	15	1,276	( )	722 (519)	1,443	0				3142	0	114	18,573
年間新外来患者数	5,962	5,055	3,755	50	971		791	1,656	37				5869	0	172	24,318
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	406.5 (243)	20.6 (365)	289.8 (243)	9.3 (243)	38.6 (243)	( )	30.9 (243)	89.1 (243)	14.8 (243)				190.1 (972)	0 (243)	25.1 (243)	
平均在院日数	11.4	6.4	15.9	15.2	7.8		8.0	6.1					6.1		8.6	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医) 数)	70 ( 20 )	13 ( 7 )	26 ( 5 )	24 ( 5 )	17 ( 4 )	19 ( 3 )	( )	( )	1 ( 1 )	( )	( )	( )	98 ( 16 )	3 ( 2 )	5 ( 2 )	276 ( 65 )

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和4年度分)								臨床研修病院の名称： 手稲溪仁会病院						
								病院施設番号： 030008						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
手稲溪仁会病院	内科	9	9	9	10	10	9	10	10	9	10	10	8	10
	救急部門	4	4	5	5	5	5	4	5	5	5	4	5	5
	外科	2	2	2	1	1	2	2	1	2	2	2	2	1
	小児科	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	1	1	1
	産婦人科	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2
北海道大学病院	内科													
	救急部門													
札幌医科大学附属病院	内科													
	救急部門										1	1	1	
JR 札幌病院	救急部門							1	1	1		1	1	1

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和5年度分)								臨床研修病院の名称： 手稲溪仁会病院						
								病院施設番号： 030008						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
手稲溪仁会病院	内科	9	9	9	10	10	9	10	10	9	10	10	8	10
	救急部門	4	4	5	5	5	5	4	5	5	5	4	5	5
	外科	2	2	2	1	1	2	2	1	2	2	2	2	1
	小児科	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	1	1	1
	産婦人科	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2
北海道大学病院	内科													
	救急部門									1	1			
札幌医科大学附属病院	内科													
	救急部門										1	1	1	
JR 札幌病院	救急部門							1	1	1		1	1	1
勤医協中央病院	小児科					1						1	1	1

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和6年度分)								臨床研修病院の名称： 手稲溪仁会病院						
								病院施設番号： 030008						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
手稲溪仁会病院	内科	9	9	9	10	10	9	10	10	9	10	10	8	10
	救急部門	4	4	5	5	5	5	4	5	5	5	4	5	5
	外科	2	2	2	1	1	2	2	1	2	2	2	2	1
	小児科	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	1	1	1
	産婦人科	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2
北海道大学病院	内科													
	救急部門									1	1			
札幌医科大学附属病院	内科													
	救急部門										1	1	1	
JR 札幌病院	救急部門							1	1	1		1	1	1
勤医協中央病院	小児科					1						1	1	1

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和7年度分)								臨床研修病院の名称： 手稲溪仁会病院						
								病院施設番号： 030008						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
手稲溪仁会病院	内科	9	9	9	10	10	9	10	10	9	10	10	8	10
	救急部門	4	4	5	5	5	5	4	5	5	5	4	5	5
	外科	2	2	2	1	1	2	2	1	2	2	2	2	1
	小児科	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	1	1	1
	産婦人科	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2
北海道大学病院	内科													
	救急部門									1	1			
札幌医科大学附属病院	内科													
	救急部門										1	1	1	
JR 札幌病院	救急部門							1	1	1		1	1	1
勤医協中央病院	小児科					1						1	1	1

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 31. 研修プログラムの名称及び概要（令和6年度）

プログラム番号： 030008151

※令和5年度プログラムも別途御提出ください。

病院施設番号： 030008

臨床研修病院の名称： 手稲溪仁会病院

臨床研修病院群番号： 0300087

臨床研修病院群名： 手稲溪仁会病院

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	手稲溪仁会病院臨床研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	研修理念、“挑戦し続ける医師になる”、を実現すべく研修プログラムを計画しています。各科における屋根瓦研修の確立や、英語を使った医学教育の重視など、他院には無いユニークな研修を行っております。また、ダイバーシティを重んじる風土に基づき、全国から集められた多彩な仲間達の存在も最大の魅力の一つです。				
3. 臨床研修の目標の概要	軽症～重症まで、内科、外科など科を問わず、様々な救急患者を2年間の研修期間を通じて経験することを重視します。さらに、救急以外の研修では内科、外科、小児科、麻酔科など幅広いスーパーローテーション研修を行い、将来の志望科に関わらず、ジェネラルに診ることができる研修を目指します。様々な臨床経験をすることでどんな疾患にも挑むことのできる医師を育成します。				
4. 研修期間	( 2 ) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。そのまま専門医研修に進むことが可能です。				
5. 臨床研修を行う分野	<b>研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）</b> * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030008 096222	手稲溪仁会病院 手稲家庭医療クリニック	2 4 週	在宅医療 0.1 週
	救急部門	030008	手稲溪仁会病院	1 2 週	
	地域医療	041514 056543	JA 北海道厚生連俱知安厚生病院 社会福祉法人北海道社会事業協会余市病院	4 週	一般外来 4 週
		096222 168962	手稲家庭医療クリニック 美幌町立国民健康保険病院 国民健康保険 由仁町立診療所		在宅診療 0.1 週
	外科	030008	手稲溪仁会病院	4 週	週
	小児科	030008	手稲溪仁会病院	4 週	週
産婦人科	030008	手稲溪仁会病院	4 週		
精神科	030009 041165 030020 033371 031138 032447	医療法人耕仁会 札幌太田病院 医療法人北仁会 旭山病院 医療法人社団 慈藻会 平松記念病院 医療法人澤山会 手稲病院 医療法人社団 五稜会病院 社会医療法人 博友会平岸病院	4 週		



病院で 定めた 必修 科目	<u>一般外来</u>	096222	手稲家庭医療クリニック あさひ町南大通クリニック 国民健康保険 由仁町立診療所 栄町ファミリークリニック 寿都町立寿都診療所 国民健康保険上川医療センター 美幌町立国民健康保険病院 勤医協札幌病院 公立芽室病院	<u>4週</u>	<u>一般外来 4週</u>
		168962		<u>週</u>	
		030012		<u>週</u>	
		031151		<u>週</u>	
選択 科目	選択科	030008	手稲溪仁会病院	<u>36週</u>	<u>週</u>
		096222	手稲家庭医療クリニック		
		137333	北海道脳神経内科病院		
		030009	医療法人耕仁会 札幌太田病院		
		041165	医療法人北仁会 旭山病院		
		030020	医療法人社団 慈藻会 平松記念病院		
		178482	札幌西円山病院		
		033371	医療法人澤山会 手稲病院		
		031138	医療法人社団 五稜会病院		
		041514	JA 北海道厚生連倶知安厚生病院		
		056543	社会福祉法人北海道社会事業協会余市病院		
			あさひ町南大通クリニック 国民健康保険 由仁町立診療所 栄町ファミリークリニック 寿都町立寿都診療所 国民健康保健上川医療センター 美幌町立国民健康保険病院 社会医療法人 博友会平岸病院 勤医協札幌病院 公立芽室病院 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター テキサス大学 ケース・ウエスタン・リザーブ大学 大学病院クリーブランドメディカルセンター 南イリノイ大学医学部 家庭・地域医療科		
	調整週			<u>8週</u>	<u>0.1週</u>

備考：

- ・ 基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 60 週 ※最低 52 週以上必要であるが、地域医療との関係等に配慮しつつ、1 年以上行うことが望ましい。
  - ・ 臨床研修協力施設での研修期間・・・原則最大 12 週 ※原則として合計 12 週以内であること。ただし、へき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでない
  - ・ 研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修とみならず休日・夜間の当直回数・・・約 0 回
  - ・ 救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週 ※但し、4 週を上限とする
  - ・ 一般外来の研修を行う診療科・・・内科または総合診療科 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること
  - ・ 一般外来は、地域医療研修での並行研修と病院必修での研修期間 4 週間であるが、研修分野・研修施設は研修医により異なる
  - ・ 在宅医療は内科または地域医療もしくは調整週で行う
  - ・ 内科に含まれる科：総合内科、総合診療科、家庭医療科、循環器内科、消化器内科、血液内科、呼吸器内科、腎臓内科、腫瘍内科、リウマチ科、神経内科、  
脳神経内科、脳血管内科、感染症内科
  - ・ 外科に含まれる科：消化器外科、胸部外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科
  - ・ 選択科に含まれる科：内科、外科、小児科、麻酔科、救急科、産婦人科、病理診断科、放射線診断科、眼科、皮膚科、精神科、放射線治療科、地域医療、  
海外での保健医療行政
- ※内科、精神科研修、一般外来研修、地域医療研修、および選択科については、どの協力型病院・施設をまわるかは未定なので回る可能性のある病院の全てを記載

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号： 030008

臨床研修病院の名称：手稲溪仁会病院

は、既に取り得られている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号： 0300087

臨床研修病院群名：手稲溪仁会病院群

6. 研修スケジュール (一年次) 二年次：いずれかに○)

プログラム番号 030008151

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。\*1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野*2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5												
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3												
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3										
手稲溪仁会病院(030008)	内科	7	7	7	8	8	7	8	8	7	8		7	8
手稲家庭医療クリニック (096222)														
手稲溪仁会病院(030008)	救急部門	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
手稲溪仁会病院(030008)	外科	2	2	1	1	1	2	1	1	2	2	2	2	1
手稲溪仁会病院(030008)	小児科	2	1	2	1	1	2	2	2	2	1		1	1
手稲溪仁会病院(030008)	産婦人科	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1		2	2
手稲溪仁会病院(030008)	選択科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		3	3
勤医協札幌病院(030012)														

\*1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

\*2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

\*3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。





テキサス大学																							
ケース・ウェスタン・リザーブ大 学 大学病院クリーブランドメデ ィカルセンター																							
南イリノイ大学医学部 家庭・地 域医療科																							

- \* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法(たすきがけ方式等)を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。
- \* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。
- \* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号 030008

臨床研修病院の名称: 手稲溪仁会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有: ○ 有 × 無	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
内科(家庭医療)	星 哲哉	手稲溪仁会病院	総合内科部長 臨床研修部長	31年	○	日本家庭医療学会指導医養成講座、日本内科学会認定医・総合内科専門医 VHJ機構平成20年指導医養成講座受講 平成22年度プログラム責任者養成講座、日本リウマチ学会専門医 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了 米国家庭医療科専門医、米国家老年科専門医	030008351 030008151	1 (03000802、03000801) 4 研修管理委員
内科	芹澤 良幹	手稲溪仁会病院	総合内科主任医長	32年	○	日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本循環器学会専門医 日本救急医学会認定医、平成15年度医療研修推進財団指導医養成講習会 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4
内科	中村 海人	手稲溪仁会病院	総合内科医長	11年	○	日本内科学会認定内科医、日本リウマチ学会リウマチ専門医、日本リウマチ学会リウマチ指導医 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了 令和3年度VHJ機構指導医養成講座	030008351 030008151	4
感染症内科	菊池 航紀	手稲溪仁会病院	感染症内科医長	11年	○	日本内科学会認定内科医、日本内科学会指導医、日本感染症学会感染症専門医 ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了 亀田メディカルセンター臨床研修指導医養成講習会	030008351 030008151	4
血液内科	酒井 基	手稲溪仁会病院	血液内科部長	34年	○	日本内科学会認定医、日本血液学会専門医 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了 第10回 北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ受講	030008351 030008151	4
血液内科	林 敏昭	手稲溪仁会病院	血液内科主任部長 北海道骨髓腫センター センター長	32年	○	日本内科学会認定医、日本内科学会総合内科専門医 血液学会血液専門医・指導医・評議員 日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医 日本輸血・細胞治療学会細胞治療認定管理師 日本がん治療認定医機構認定医、日本消化器病学会専門医 第7回札幌医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会受講	030008351 030008151	4
血液内科	山口 圭介	手稲溪仁会病院	血液内科主任医長	22年	○	日本血液学会血液専門医、日本内科学会総合内科専門医 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了 第9回札幌医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会	030008351 030008151	4
病理診断科	篠原 敏也	手稲溪仁会病院	病理診断科部長	36年	○	厚生労働省死体解剖資格、日本病理学会病理専門医・研修指導医 日本臨床細胞学会指導医、平成20年VHJ機構指導医養成講座受講	030008351 030008151	4
病理診断科	太田 聡	手稲溪仁会病院	病理診断科主任部長	30年	○	日本病理学会病理認定医、日本臨床細胞学会細胞診指導医 第16回千葉大学卒後臨床研修指導医養成ワークショップ	030008351 030008151	4
消化器内科	姜 貞憲	手稲溪仁会病院	医員	40年	○	日本内科学会認定医、日本肝臓学会専門医・指導医 VHJ機構平成18年臨床研修指導医養成講座受講	030008351 030008151	4
消化器内科	松居 剛志	手稲溪仁会病院	消化器内科部長 腹部超音波室室長	23年	○	日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本内科学会認定医 日本消化器内視鏡学会専門医、日本超音波医学会専門医 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了 日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」	030008351 030008151	4
消化器内科	本谷 雅代	手稲溪仁会病院	消化器内科主任医長	25年	○	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本泌尿学会指導医、札幌医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会	030008351 030008151	4
腎臓内科	滝沢 英毅	手稲溪仁会病院	院長補佐 泌尿器腎センターセンター長	34年	○	VHJ機構平成23年度臨床研修指導医養成講座受講、日本腎臓学会専門医 日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本透析医学会専門医・指導医 日本循環器学会専門医・指導医、日本高血圧学会専門医・指導医	030008351 030008151	4
腎臓内科	前田 卓人	手稲溪仁会病院	腎臓内科部長	23年	○	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医、日本腎臓学会腎臓専門医 VHJ機構平成28年度臨床研修指導医養成講座受講	030008351 030008151	4
腎臓内科	茂庭 仁人	手稲溪仁会病院	腎臓内科主任部長	25年	○	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医 日本透析医学会透析専門医、日本透析医学会指導医、日本高血圧学会高血圧専門医 日本高血圧学会指導医、日本高血圧学会評議員、日本腎臓学会腎臓専門医 日本腎臓学会指導医 第10回札幌医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会	030008351 030008151	4

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名前を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること)。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること)。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号 030008

臨床研修病院の名称 手稲溪仁会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有: ○ 無: ×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
循環器内科	湯田 聡	手稲溪仁会病院	循環器内科主任部長 心臓血管センター副センター長	32年	○	医学博士、日本内科学会認定医、日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会専門医、日本超音波医学会専門医・指導医 日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」	030008351 030008151	4
循環器内科	土井 崇裕	手稲溪仁会病院	循環器内科副部長	20年	○	日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医、日本循環器学会認定循環器専門医 令和3年度VHJ機構指導医養成講座	030008351 030008151	4
循環器内科	永原 大五	手稲溪仁会病院	循環器内科副部長 ハートリズムセンターセンター長	26年	○	日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医 日本不整脈心電学会不整脈専門医 第4回北海道厚生農業協同組合連合会臨床研修ワークショップ	030008351 030008151	4
小児科	南雲 淳	手稲溪仁会病院	医員	34年	○	日本小児科学会専門医、日本循環器学会専門医、日本小児循環器学会専門医 VHJ機構平成23年臨床研修指導医養成講座受講	030008351 030008151	4
小児科	田村 卓也	手稲溪仁会病院	小児科副部長 小児集中治療科長	22年	○	日本小児科学会専門医、AHA公認PALSプロバイダー 北海道医師会平成22年度指導医のためのワークショップ受講 SCCM公認PFCCSプロバイダー・FCCSプロバイダー	030008351 030008151	4
小児科	荻原 重俊	手稲溪仁会病院	主任医長	14年	○	日本小児科学会小児科専門医、日本小児科学会小児科指導医、麻酔科標榜医 日本麻酔科学会麻酔科認定医、日本小児麻酔科学会小児麻酔認定医 日本集中治療医学会集中治療専門医、SCCM公認PFCCSプロバイダー 米国心臓協会PALSインストラクター、日本小児科学会JPLSインストラクター 日本医学シミュレーション学会DAMインストラクター、災害時小児周産期リエゾン 2021年度日本病院会 第1回臨床研修指導医講習会	030008351 030008151	4
小児科	坪田 朋佳	手稲溪仁会病院	小児科主任医長	16年	○	小児科専門医 第15回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ	030008351 030008151	4
眼科	鈴木 康夫	手稲溪仁会病院	眼窩・神経眼科センター センター長	40年	○	日本眼科学会専門医・指導医 平成22年度北海道医師会指導医のための教育ワークショップ受講 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4
放射線診断科	櫻井 康雄	手稲溪仁会病院	副院長 放射線診断センター長 放射線診断科主任部長	36年	○	済和会音羽病院平成20年度指導医養成講習会受講 日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本血管造影IRV学会指導医	030008351 030008151	4
放射線診断科	児玉 芳尚	手稲溪仁会病院	放射線診断科部長	28年	○	日本医学放射線学会放射線科認定医 日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本医学放射線学会指導医 日本IVR学会経皮凍結治療法認定医 日本IVR学会専門医 日本IVR学会指導医 日本IVR学会代議員 日本腹部放射線学会代議員 日本がん治療認定医機構がん治療認定医、全日本病院協会 臨床研修指導医講習会 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了		
脳神経外科	浅岡 克行	手稲溪仁会病院	院長補佐 脳疾患センターセンター長 脳神経外科部長	32年	○	日本脳神経外科学会専門医、平成29年度第2回臨床研修指導医講習会 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4
脳神経外科	板本 孝治	手稲溪仁会病院	囃託	37年	○	日本脳神経外科学会専門医 平成22年度北海道医師会指導医のためのワークショップ受講	030008351 030008151	4
脳神経外科	穂刈 正昭	手稲溪仁会病院	主任医長	25年	○	日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医 第8回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ	030008351 030008151	4
脳神経外科	宮田 圭	手稲溪仁会病院	主任医長	24年	○	日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医 日本脳神経血管内治療学会指導医、日本救急医学会認定医 日本救急医学会専門医、日本救急医学会指導医、日本脳卒中学会専門医 日本脳神経外傷学会認定指導医 第5回札幌医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会	030008351 030008151	4
脳血管内科	安嶺 稔	手稲溪仁会病院	脳血管内科主任部長	28年	○	指導医のための教育ワークショップ、日本神経学会神経内科専門医 日本内科学会認定内科医、日本脳卒中学会認定脳卒中専門医	030008351 030008151	4

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること)。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること)。

※ 研修実施責任者…協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医(指導医)…研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。



31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号 030008

臨床研修病院の名称 手稲溪仁会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有: ○ 無: ×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
整形外科	蔡 栄浩	手稲溪仁会病院	整形外科部長 整形外科上肢センターセンター長	30年	○	日本整形外科学会専門医 日本手外科学会手外科指導医 義肢装具等適合判定医 医学博士、北海道・北海道医師会共催 指導医のための教育WS がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4
整形外科	相澤 哲	手稲溪仁会病院	整形外科医長	12年	○	日本整形外科学会整形外科専門医 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了 日本病院会 2021年度第2回臨床研修指導医講習会	030008351 030008151	4
形成外科	大澤 昌之	手稲溪仁会病院	形成外科部長	25年	○	日本専門医機構形成外科専門医、日本形成外科学会小児形成外科分野指導医 日本形成外科学会皮膚腫瘍外科分野指導医、日本創傷外科学会専門医 日本頭蓋顔面外科学会専門医 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了 第1回日本病院協会主催 臨床研修指導医講習会	030008351 030008151	4
形成外科	七戸 龍司	手稲溪仁会病院	主任医長	22年	○	日本形成外科学会専門医、日本熱傷学会専門医 第5回北海道厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医ワークショップ 皮膚腫瘍外科分野指導医、日本創傷外科学会専門医	030008351 030008151	4
産婦人科	和田 真一郎	手稲溪仁会病院	産婦人科 主任部長	34年	○	第10回札幌医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会受講 日本産科婦人科学会産婦人科専門医、日本産科婦人科学会指導医 日本生殖医学学会生殖医療専門医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医、北海道医師会母体保護法指定医 日本周産期・新生児医学学会暫定指導医 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4
産婦人科	福士 義将	手稲溪仁会病院	産婦人科 部長 母子はぐくみセンター副センター長	30年	○	VHJ機構平成20年度指導医養成講座受講 日本産科婦人科学会専門医、日本産科婦人科学会指導医 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4
産婦人科	太田 創	手稲溪仁会病院	産婦人科副部長	18年	○	第10回札幌医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会受講 日本産科婦人科学会産婦人科専門医、日本産科婦人科学会指導医 日本周産期・新生児医学学会周産期専門医(母体・胎児)	030008351 030008151	4
麻酔科	横山 健	手稲溪仁会病院	院長補佐 中央手術センターセンター長 麻酔科主任部長	31年	○	日本麻酔科学会指導医、日本周術期経食道心エコー認定 麻酔科標榜医 6948号厚生省収医46号 VHJ機構平成28年度臨床研修指導医養成講座受講	030008351 030008151	4
麻酔科	曾根 哲寛	手稲溪仁会病院	主任医長	36年	○	麻酔科標榜医、日本麻酔科学会指導医 VHJ機構平成28年度臨床研修指導医養成講座受講	030008351 030008151	4
麻酔科	武田 美和子	手稲溪仁会病院	主任医長	28年	○	日本麻酔科学会専門医、麻酔科標榜医 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了 北海道医師会指導医のための教育ワークショップ	030008351 030008151	4
麻酔科	石原 聡	手稲溪仁会病院	麻酔科部長	19年	○	日本麻酔科学会麻酔科専門医、第11回北海道大学病院指導医のためのワークショップ、日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医、日本ACLS協会ACLS27ローダー・PALS27ローダー、日本周術期経食道心エコー認定委員会JB-POT認定医、全国自治体病院協議会臨床研修指導医講習会修了	030008351 030008151	4 研修管理委員長
麻酔科	秋本 貴子	手稲溪仁会病院	医長	12年	○	第16回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ 日本内科学会認定内科医、日本麻酔科学会麻酔科専門医 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4
泌尿器科	柏木 明	手稲溪仁会病院	顧問	40年	○	日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本泌尿器科内視鏡学会泌尿器腹腔鏡手術技術認定医 日本がん治療認定医機構認定医、ロボット支援 鏡視下手術プロテクター認定医、VHJ機構平成20年度指導医養成講座受講 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4
泌尿器科	菊池 央	手稲溪仁会病院	泌尿器科部長	15年	○	日本泌尿器科内視鏡学会泌尿器腹腔鏡手術技術認定医 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了 第17回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ	030008351 030008151	4

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び集積(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名前を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

※プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号 030008

臨床研修病院の名称 手稲溪仁会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有: ○ 無: ×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
心臓血管外科	奈良岡 秀一	手稲溪仁会病院	心臓血管外科主任部長 心臓血管センター副センター長	23年	○	日本外科学会外科専門医、心臓血管外科専門医認定機構心臓血管外科専門医 日本脈管学会認定脈管専門医、 日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部大動脈瘤ステントグラフト指導医 日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部大動脈瘤ステントグラフト指導医 下肢静脈血管内焼灼術実施・管理委員会血管内レーザー焼灼術実施 臨床研修指導医養成講習会	030008351 030008151	4
耳鼻咽喉科	古田 康	手稲溪仁会病院	理事 手稲溪仁会医療センターセンター長 院長	39年	○	日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本気管食道学会専門医、日本頭頸部 外科学会頭頸部がん専門医・暫定指導医、日本内分泌・甲状腺外科学会 専門医、日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医、日本がん治療認定医機構 認定医・暫定教育医、全日本病院協会平成20年度指導医講習会受講 ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4 研修管理委員
耳鼻咽喉科	松村 道哉	手稲溪仁会病院	耳鼻咽喉科/頭頸部外科主任部長	31年	○	日本耳鼻咽喉科学会専門医、補聴器適合判定医師 日本耳鼻咽喉科学会補聴器専門医 第12回北海道医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030008351 030008151	4
耳鼻咽喉科	佐藤 宏紀	手稲溪仁会病院	耳鼻咽喉科/頭頸部外科主任部長	22年	○	日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医、日本耳鼻咽喉科学会専門研修指導医 日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医、日本気管食道学会気管食道専門医 がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了 第14回北海道医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030008351 030008151	4
救急科	奈良 理	手稲溪仁会病院	手稲溪仁会病院副院長 救命救急センターセンター長 統括安全管理責任者 医療安全管理室室長	31年	○	日本救急医学会専門医・指導医、日本集中治療医学会専門医 日本外傷学会専門医、日本航空医療学会認定指導者、統括DMAT 登録隊員、第3回札幌医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会受講	030008351 030008151	4
救急科	森下 由香	手稲溪仁会病院	救急科主任部長	35年	○	日本ICLSコースディレクター VHJ機構平成20年度指導医養成講座受講 日本救急医学会救急科専門医	030008351 030008151	4
救急科	大西 新介	手稲溪仁会病院	救命救急センター 副センター長、救急科部長	24年	○	日本外科学会認定医、日本救急医学会専門医、統括DMAT登録隊員 全日本病院協会・日本医療法人協会平成25年度臨床研修指導医講習会	030008351 030008151	4
救急科	岡本 博之	手稲溪仁会病院	救命救急センター副センター長 救急科副部長	21年	○	日本救急医学会救急科専門医、日本救急医学会指導医、日本臨床救急医学会評議員 日本救急医学会認定ICLS-WSディレクター、日本航空医療学会認定指導者 日本航空医療学会評議員、社会医学系専門医協会社会医学系指導医 日本医師会認定産業医、北海道災害医療コーディネーター 第2回旭川医科大学病院指導医のためのワークショップ	030008351 030008151	4
救急科	大城 あき子	手稲溪仁会病院	救急科主任部長	23年	○	日本救急医学会専門医、日本集中治療医学会専門医 DMAT登録隊員 第12回北海道医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030008351 030008151	4
救急科	清水 隆文	手稲溪仁会病院	救急科副部長	22年	○	日本救急医学会専門医、日本外科学会認定医 臨床研修指導医養成講座	030008351 030008151	4
救急科	横 敏弘	手稲溪仁会病院	救急科主任部長	17年	○	日本救急医学会救急科専門医、日本医師会臨床研修指導医、JPTECインストラクター 日本救急医学会 ICLSコースディレクター、日本外傷診療研究機構JATECプロバイダー DMAT登録隊員 日本病院会 平成29年度第2回臨床研修指導医講習会	030008351 030008151	4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名前を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること)。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること)。

\* 研修実施責任者…協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医(指導医)…研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号 030008

臨床研修病院の名称: 手稲溪仁会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有: ○ 無: ×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
外科	中村 文隆	手稲溪仁会病院	副院長 教育研究治験センターセンター長	36年	○	日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医 日本呼吸器外科学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本救急医学会専門医、日本がん治療認定医機構認定医 日本乳癌学会認定医、日本病院会臨床研修指導医養成講習会受講 がん治療に関わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4
外科	安保 義恭	手稲溪仁会病院	副院長 品質管理責任者 TQMセンターセンター長 感染制御管理室室長	34年	○	VHJ機構平成19年臨床研修指導医養成講座、日本がん治療認定医機構認定医 日本外科学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本肝胆膵外科学会高度技術指導医 日本外科感染症学会外科周術期感染管理認定医、暫定教育医、消化器がん外科治療認定医、ICD制度協議会認定医、日本体育協会スポーツドクター がん治療に関わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4
外科	高田 実	手稲溪仁会病院	院長補佐 外科主任部長 ロボット支援手術センターセンター長	27年	○	日本肝胆膵外科高度技術専門医、日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ撮影認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 がんのリハビリテーション研修修了 がん治療に関わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了 第7回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ修了	030008351 030008151	2, 4 研修管理委員
外科	加藤 弘明	手稲溪仁会病院	胸部一般外科部長	30年	○	VHJ機構平成19年臨床研修指導医養成講座、がん治療認定医日本外科学会認定医・専門医、日本がん治療認定医機構認定医、検診マンモグラフィ撮影認定医、がん治療に関わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4
外科	常俊 雄介	手稲溪仁会病院	外科主任医長	20年	○	堺市立総合医療センター、日本外科学会外科専門医、日本救急医学会救急科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本外科学会外傷専門医、日本Acute Care Surgery学会 A久手 Care Surgery認定医 日本腹部救急医学会腹部救急認定医、がん治療認定医 第10回指導医のための教育ワークショップ	030008351 030008151	4
呼吸器内科	山田 玄	手稲溪仁会病院	副院長 呼吸器内科部長	36年	○	日本呼吸器内視鏡学会認定医/気管支鏡専門医/指導医 日本内科学会認定内科医/総合内科専門医 日本呼吸器学会呼吸器専門医/指導医、医学博士 第1回札幌医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会	030008351 030008151	4
呼吸器内科	横尾 慶紀	手稲溪仁会病院	呼吸器内科主任部長	17年	○	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 日本呼吸器外科学会指導医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医 日本呼吸器内視鏡学会気管支専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本病院会臨床研修指導医講習会 がん治療に関わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4
腫瘍内科	石黒 敦	手稲溪仁会病院	腫瘍内科部長 オンコロジーセンターセンター長 化学療法室長 がんゲノム診療室長	24年	○	日本内科学会認定・総合内科専門医、日本血液学会専門医 日本消化器病学会専門医、日本臨床腫瘍学会指導医 日本がん治療認定医機構認定医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 第9回青森県意思臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ がん治療に関わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4
皮膚科	加瀬 貴美	手稲溪仁会病院	皮膚科部長	25年	○	日本皮膚科学会認定皮膚科専門医 がん治療に関わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了 第9回札幌医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会受講	030008351 030008151	4
病院総合診療 家庭医療科	小嶋 一	手稲溪仁会病院	手稲家庭医療センター センター長 病院総合診療・家庭医療科部長	23年	○	洛和会音羽病院平成20年度指導医養成講習会、厚生労働省認知症サポート医 日本プライマリケア連合学会認定医、指導医、日本医師会健康スポーツ医 がん治療に関わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	030008351 030008151	4
家庭医療科	佐野 恵	手稲溪仁会病院	医員	8年	○	がん治療に関わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了 全日本病院協会臨床研修指導医講習会	030008351 030008151	4
精神保健科	白坂 知彦	手稲溪仁会病院	精神保健科部長	18年	○	日本精神科病院協会精神保健認定医、日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医 日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学指導医、日本精神神経学会指導医 日本医師会認定産業医、日本精神神経学会専門医制度精神科専門医 令和3年度VHJ機構指導医養成講座	030008351 030008151	4

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病棟(CPO)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること)。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること)。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

研修プログラム変更

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：手稲溪仁会病院

（ 北海道 ）

研修プログラムの名称：手稲溪仁会病院臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 （年単位換算） 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載
手稲溪仁会病院	0300087	基幹型	北海道	960時間	原則研修医の日当直なし。宿日直許可申請予定。
札幌太田病院	030009	協力型	北海道	540時間	当直あり医師は月4～5回/宿日直許可あり
勤医協札幌病院	030012	協力型	北海道		臨床研修医の当直・日直なし
平松記念病院	030020	協力型	北海道	300時間	研修医月2～3回宿日直のうち救急当番月1回 宿日直許可申請予定
五稜会病院	031138	協力型	北海道	300時間	研修医は月2～3回の宿日直（月1回の救急当番含む）
公立芽室病院	031151	協力型	北海道	960時間	原則研修医の日当直なし。
手稲病院	033371	協力型	北海道	0時間	研修医の日当直なし。宿日直許可あり。
旭山病院	041165	協力型	北海道	0時間	宿日直許可済（救急当番日除く）
倶知安厚生病院	041514	協力型	北海道	450時間	当直2～3回、日直1回 22：00～翌8：30まで宿直許可取得済
余市協会病院	056543	協力型	北海道	500時間	月2～4回 宿日直許可申請中
北海道脳神経内科病院	137333	協力型	北海道	960時間	原則研修医の日当直なし。宿日直許可認定済。
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	031151	協力型	沖縄県	0時間	臨床研修医の当直・日直なし

参考 時間外・休日労働 （年単位換算） 前年度実績	C-1水準 適用
約258時間 対象となる臨床研修医36名 （2022年度）	適用 申請中 申請予定
平均141時間（常勤医師12名 平均）	適用 申請中 申請予定
	適用 申請中 申請予定
研修医の時間外	適用 申請中 申請予定
研修医の時間外労働実績なし	適用 申請中 申請予定
0時間	適用 申請中 申請予定
0時間	適用 申請中 申請予定
約300時間 対象となる臨床研修医3名 （2022年度）	適用 申請中 申請予定
約450時間 対象となる臨床研修医22名 （2022年度）	適用 申請中 申請予定
約10時間	適用 申請中 申請予定
0時間	適用 申請中 申請予定

※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。

研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。

※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。

※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。

※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。